ある日、世界に突如【肉の湧く泉】が出現した。 「これでいつでも焼肉が食べられる」 人間はその欲望を抑えられず、 泉を独占しようと世界中で戦争が起こった。

エラい人が言った。

「より多くの客を満足させたものに泉をくれてやる。 それは即ちこの世の全てを手に入れることと同じだ」 こうして、世は焼肉戦国時代を迎えた -

### 事前準備

- 肉策デッキ (肉カード + 策カード) と 客デッキ (客カード) を良くシャッフルしてそれぞれ 肉の湧く泉と路上に置く (「場について」参照)。
- ・初期手札として、各プレイヤーは肉の湧く泉から カードを 4 枚引く。
- ・プレイヤーの順番を決める (最近焼肉を食べた人から時計回り)。

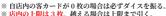
進行 各プレイヤーは自分のターンに以下の行動を順に行う。

# ① 仕入れフェイズ

肉の湧く泉からカードを2枚引いて手札に加える。

## ② 入店フェイズ

任意でダイスを振り、出た目に応じて 1 枚 ずつ路上から客カードを引き、店内に置く。





· :: 1枚

[:][::] 2枚

1:1 3枚

# ③ 接客フェイズ

以下の行動を任意の順序で好きなだけ行うことができる。

- 店内の客カードに肉カードを提供する。
- 手札の策カードを使用する。 ※使用後は地下水脈に送られる。

【客の獲得について】提供した肉カードの枚数が設定されて いる必要肉枚数に達したとき、その客は自店のファンになる。 客カードをファンエリアに移動させ、記載されている 獲得肉枚数分のカードを肉の湧く泉から引く。なお、提供 した肉カードは地下水脈に送られる。

# ④ 終了フェイズ

自店内の客カードを左に 90 度回し、待ちターン数を 1減らす。この時、残り待ちターン数が1だった 客カードは裏面を上にしてアンチエリアに移動する。 その後、次のプレイヤーのターンとなる。

### ゲーム終了

路上から客カードが尽きたら閉店(ゲーム終了)に 近づく。最後の客カードを引いたプレイヤーの次の プレイヤーから最後の一巡となり、再び最後に客カード を引いたプレイヤーのターン終了をもって閉店となる。

### 得点計算

### ファンエリアのカード枚数 - アンチエリアのカード枚数

が得点となる。閉店時に最も得点が多いプレイヤーが 勝者となり、肉の湧く泉を手に入れることができる。 多くのファンを獲得し、この世のすべてを手に入れる。



# 店内について



店内に置ける客カードの枚数の上限は3枚。



# ① カードアイコン

カードの種類を表す。このゲームには【客】【肉】【策】 の3種類のカードが存在する。

# ② 待ちターン数

その客が店内に滞在できるターン数を表す。

# ③ 肉の部位

どの部位の肉かを表す。ゲームでは使用しない。

### ④ レアリティ

肉の希少性を表す。特定のレアリティの肉しか提供 できない客も存在する。

# ⑤ 未成年アイコン

未成年の客であることを表す。 未成年へのアルコール提供は店の責任で行う。

# ⑥ カード効果

このカードを使用したときに発動する効果を表す。

# ⑦ 獲得肉枚数

この客をファンにしたときに肉の湧く泉から引く ことのできるカードの枚数を表す。

# ⑧ 必要肉枚数

この客をファンにするために必要な肉の枚数を表す。

# 特殊カードについて

### 策・客共用カード

右のカードのようにカード効果に 【策】および【客】と記載されて いるカードは策・客共用カードと 呼ぶ。策・客共用カードは、カード 発動時は策カードとして処理し その後、客カードとして用いる。



# O1: 肉の湧く泉からカードが なくなった!

地下水脈のカードをシャッフルして肉の湧く泉に 置きましょう。そうすれば再び湧きます。 世界はそうやって回っています。

# O2:カードの効果で客カードを路上 に戻すとき、策・客共用カードは?

他の客カード同様に路上に戻します。 一度店内に入ったらすべてお客さんです。

# O3:客カード【田舎のヤンキー】に 滞在時間ってあるけど、何コレ?

待ちターン数の誤植です。すみません...。

# ZOST-NEDWG

# 内容物

肉カード 50 枚・客カード 20 枚・策カード 14 枚 ルールブック(本書)1冊

# クレジット

ディレクション: エクシリ

ゲームデザイン: エクシリ・ねりわさび・中村

イラスト: ねりわさび

テキスト: 中村

アートワークデザイン: エクシリ

### ⇒ sin(studio)



ttps://singamestudio.github.io @SinGameStudio

お買い上げありがとうございました!